

2014年1月6日

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン  
ガバナー 遠藤 妙子

東日本大震災義援金プロジェクト

## 「女性と女兒への贈り物Ⅱ～希望をつなぐ～」

### 応募へのお礼と支援クラブ報告

新しい年を迎え、各クラブの皆様にはご清祥にてご活躍のこととお慶び申し上げます。  
東日本大震災により被災された女性と女兒の方々が、未来を夢見て生きるための支援活動が被災各地で行われておりますが、時間の経過と共に活動の継続が難しい状況になっています。そのような女性と女兒の方々に手を差し伸べようと考え、東日本大震災義援金プロジェクト『女性と女兒への贈り物Ⅱ～希望をつなぐ～』へ、ご応募をお願いいたしましたところ、18クラブより19件の申請書を提出していただきました。地域の被災者への支援活動に目を向けられ、申請して下さいましたご尽力に深く感謝申し上げます。

北リジョン理事会におきまして、厳正なる審査の結果、別紙の15件のクラブに支援金をお送りさせていただくことに決定いたしましたのでご報告申し上げます。

支援クラブにおかれましては、支援金をお渡しする際は、出来れば国際女性デーにちなみ、2014年3月8日（土）前後をお考えいただきまして、国際ソロプチミストの一般的知名度を高めるためのご協力の程、宜しくお願いいたします。

## 東日本大震災義援金プロジェクト「女性と女兒への贈り物Ⅱ～希望をつなぐ～」

2014年1月5日

推薦 クラブ名	プロジェクト名	団体名（個人名）	活動内容
旭川	みちのく会旭川支部 “みちカフェ”	みちのく会旭川支部	旭川を含む上川地域への避難者は、旭川市 136 人で上川エリアを含めると 221 名です。北海道は広域のため連携が取れず避難者が心細くなっているため、情報網や避難者同士の「輪」を繋ぐため、“みちカフェ”を立ち上げました。避難者の方々の手作り作品販売、住宅情報・求人情報などを提供しています。
千歳	女性と女兒への贈り物Ⅱ ～希望をつなぐ～	池谷 房子	被災者の方々のあまりにも凄まじい惨状にじっとしていられなく、大画せん紙に、経文（正信偈）をお地蔵様の絵と共に災害地のお寺へ寄進しました。その後も、折々に励ましの手紙と共に義援金や食べ物などを送ったり、仮設住宅のお年寄りの方々が作成した、手作りの 100 本のフキン販売協力の引き受けも行っています。
花巻	母ちゃんの笑顔	遠野地域婦人団体協議会	お菓子づくりをしながらお茶会をして交流、正月花を活けたり、キムチづくりなど文化交流を行いながら、遠野市にある希望の郷「絆」（仮設住宅）に住む方々の心を癒すとともに、笑いや楽しみを一緒に味わった仲間として、深い絆で結ばれています。「自分たちにできる仕事を取り組む」使命で会として活動を開始し継続しています。
原町	M.J.C アンサンブル	M.J.C アンサンブル	校外の合唱団体として 2009 年 6 月 21 日に発足し、活動拠点は、大正時代の古い酒蔵を再生したギャラリー「銘醸館」。悲しいことに入団を決めて 2011 年 3 月から練習に参加する予定だった当時中学三年の子は、震災による津波で両親共々帰らぬ人となり、伴奏者もピアノも家も流されておりますが、劣悪な環境の中で頑張っています。
石巻	“あつまれ!! 子ども未来 図書館へ”	子ども未来図書館	母体である学習塾に併設して平成 25 年 10 月「子ども未来図書館」を開設。大震災で被害が大きく、学校も仮設での授業となる。子ども達は行き場を失った状況なので、毎日通って宿題や自主勉強や読書が出来るなど、いつでも誰でも来れる居場所です。自主学習の生徒も増え、本の出し入れ等の手伝いをしたり、父兄も来館しております。
石巻ワッツ	花と緑による癒しの プロジェクト	スワン国際協力の会	道行く人が楽しめるような場所に、花や緑による安らぎと癒しの空間作り、仮設住宅内の集会所には鉢植えやプランターを提供、心身ともに傷ついた女性達が、花や緑に接し悲しみや苦しみを和らげ育てる喜びを感じます。成長を観察する過程が未来への希望や夢に繋がり、手作業により心が落ち着き共同作業により連帯感が生まれます。

推薦 クラブ名	プロジェクト名	団体名（個人名）	活動内容
気仙沼	気仙沼あそびーば	気仙沼あそびーばの会	「子どもたちがやりたい時にやりたい事をやりたいだけやれる」をコンセプトに週4日と祝祭日に開園し、1日平均20人の子ども達が自由な遊びの中で様々な体験や工夫で心身ともに健やかな日々を送っている。「あそびーば」は遊び場だけでなく、女性達の心のはけ口にもなり親子の絆をより深め、心の癒しの場となっております。
郡山	「ふくしまママ友サロン」プロジェクト	NPO 法人 ウィメンズスペースふくしま	全国からのフリーダイヤルでの電話相談業務を9月から開始し、「NPO 法人ウィメンズスペースふくしま」として、女性専用スペースでの相談コーナーを設置し、女性と女児の生き方をめぐる問題や、DV や性暴力などの女性に対する暴力防止をテーマにセミナーを開催して、安心して生きる事が出来る社会となるよう活動している。
室蘭	みやぎジョネット (被災女性サポート)支援	室蘭女子会	被災した女性が悩みを共有しリラックスした時間を過ごせるようにと、仮設住宅などでお茶会を開いたり、支援物資を届ける活動をしている。「自分たちにできることを」と賛同者は約20人に。これまで2回、段ボール箱で各5個分の物資を送った。震災から1年目の節目には「いつも応援しています」などと記したカードも添えた。
大船渡	シャポー I W A T E	シャポー I W A T E	ひと針ひと針心を込めて、タオルを利用し肌にやさしいタオル帽子を作り、がん患者の方々へ届ける活動をしています。心を癒し、不安やストレスを和らげ少しでも治療に前向きになればと思ひ会員40名及びボランティアの方々が月2回、これまで約3000個の帽子を作り、岩手ホスピスの会を通じ、がん患者の方々へ配布しています。
小樽	小樽・3.11 避難者の会	小樽・3.11 避難者の会	避難者の方々が困っている事を助け合える会を立ち上げました。東日本大震災と原発事故の影響で、小樽市近郊に避難している方々の相互扶助と交流、現状の情報収集、行政との交渉等を行っています。また、小樽市議会で「子ども・被災者支援法」の施策の具体化を求める陳情書を提出します。
仙台	被災地の女性・女児への 見守り活動 ～遊び場における心のケア～	特定非営利活動法人 冒険あそび場ーせんだい・ みやぎネットワーク	大震災で子ども達の心のケアが急務と感じ、発災直後から避難所の近くで移動遊び場を開始。現在では、仮設住宅の敷地内や隣接する公園、小学校の校庭など県内9箇所遊び場を開いている。女性達の自立と新たな未来への道標となる時でもあり、各々の課題と向き合い、手を携えていきたい。
士別	北海道へ「ひと夏体験の旅」	川又 まき子	川又さん夫妻は釜石市出身で、被災した児童の受け入れなどを行ってきた。「今後も支援を続けたい」と、津波で実家を流され、親類や友人を亡くし、惨状をまのあたりにし愕然とした。コメやガソリンなどを持って何度も釜石に入り、被災地支援に従事。2人の母校である鶉住居小の児童11人を北海道士別市に招待した。

推薦 クラブ名	プロジェクト名	団体名（個人名）	活 動 内 容
田村	ふるさと再生の為に 親子料理教室	国際ソロプチミスト田村	収穫祭を兼ねた料理教室を開きレシピの紹介と、講師をお招きし健康の原点は食育にあること、食の楽しさなど、また低農薬、有機栽培の普及活動もしている。将来の健康に不安を抱く母親と、若い女性と女兒に対して、正しい食生活が免疫力を高め、あらゆる病気の予防に繋がると信じて活動しています。
横手	音を届ける風の輪 プロジェクト	音を届ける風の輪 プロジェクト	約 15 名のスタッフで現場に向かい、仮設住宅の広場等でライブを行っています。“宅配のように音を届ける”のは、一歩前に足を踏み出してもらいたいからです。費用は 1 年で約 100 万円を集めますが、他は寄付、持ち出しなどで厳しい現状ですが、笑顔を見るのが嬉しくて頑張っています。

**【発行者】** 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン ガバナー 遠藤妙子  
**【事務局】** 〒060-0807 札幌市北区北 7 条西 5 丁目 8-1 北 7 条ヨシヤビル 3F  
 日本北リジョン事務局  
 TEL(011)756-8161 FAX(011)756-8162  
 E-Mail: sia-jkita@world.odn.ne.jp ホームページ: <http://www.sia-kita.jp/>